

2023 年度 事業計画書
(自 2023 年 4 月 1 日 至 2024 年 3 月 31 日)

助成事業（公益目的事業 1）

1. 芸術文化活動への助成

(1) 助成分野と助成件数及び助成金額

当財団の芸術文化活動の助成対象分野は、美術分野と音楽分野の 2 分野で、いずれも社会的意義が高く、高度の芸術的水準を満たしていると判断されるものへ助成を行う。

美術分野は、主に日本の美術館・博物館等が企画する絵画・版画・彫刻・インスタレーション等の展覧会を対象とする。2023 年度は、36 団体、助成金総額は 2,000 万円を予定している。

美術の研究に関する研究成果の出版に対しては、2 名、助成金額は 200 万円を予定している。

音楽分野は、日本のプロの音楽団体が企画する創造的な公演（普及、育成活動も含む）で、オーケストラ・オペラ・室内楽等の分野の活動を対象とする。2023 年度は、43 団体、助成金総額は 2,000 万円を予定している。

音楽分野の専門的研究活動への助成に対しては、7 名、助成金総額は 200 万円を予定している。

新型コロナウイルス感染症拡大により延期となった過年度分の助成採択企画ならびに研究に対し 2 件、130 万円の拠出を予定している。

(2) その他

芸術文化活動の 2024 年度の活動内容について見直し・再検討を行う。

2. 科学技術研究への助成（花王科学奨励賞）

(1) 助成分野と助成件数及び助成金額

3 5 歳以下の若手研究者を対象に、「表面の科学」を大テーマとして、化学・物理学分野、医学・生物学分野それぞれの分野での独創的、先進的な研究に対して花王科学奨励賞（研究助成）を授与する。各分野、5 件、1,000 万円、総計 10 件、2,000 万円の助成を予定している。

(2) 授与式及び、研究成果発表会の開催

2023 年度花王科学奨励賞（研究助成） 受賞者への授与式及び、前年度（2022 年度）の研究助成対象者 10 名による、研究成果発表会（口頭発表）を開催する。

開催日：2023 年 6 月 20 日 於）都内

(3) 募集活動

2024 年度花王科学奨励賞（研究助成）を公募する。

募集期間：2023 年 7 月 1 日～10 月 31 日

3.女性研究者支援の助成（花王 Crescent award）

(1) 助成分野と助成件数及び助成金額

財団が指定する大学・研究機関には予め推薦枠があり、推薦された任期付きで目づ「表面の科学」の＜化学・物理学分野＞に関わる女性研究者に対して1件 100万円とし、使途自由度の高い助成金を給付する。

総計 14 件、1,400 万円の助成を予定している。

(2) 募集活動

2024 年度花王 Crescent award（研究助成）を募集（指定校推薦制）する。

募集期間：2023 年 10 月 1 日～2024 年 1 月 31 日

4.大学院（修士課程）に通う学生への奨学支援

(1) 奨学支援（花王佑啓奨学金）

財団が指定する23大学に在籍し、「表面の科学」の研究領域で＜化学・物理学分野＞の研究を目指す大学院生（修士課程）に対して奨学金を給付する。

奨学支援事業 7 年目となる 2023 年度分の募集は、2023 年 3 月頃までに財団が指定する 23 大学の学生課を通じて開示され、各大学より申請された応募書類（一次審査）と面接（一次審査通過者のみ）を行い、決定する。1 件 60 万円／年とし、計 7 件、420 万円の奨学金を予定している。

併せて、2022 年度に採択された第 6 回奨学生への 2 年目の奨学金給付を 7 件、420 万円を行なう予定。

(2) 募集活動

財団が指定する23大学に在籍し、「表面の科学」の研究領域で、〈化学・物理学分野〉の研究を目指す大学院生（修士課程）で、要項に該当する学生を募集する。

募集期間：2023年3月～5月26日締切。

(3) 懇談会開催

選考委員および奨学生同士の繋がりを醸成することを目的に懇談会を開催する。

懇談会開催：2023年9月10日（日）開催予定。

顕彰事業（公益目的事業2）

1. 科学技術研究の顕彰

「表面の科学」分野の基盤研究の振興のため、この領域で一定の成果を上げている若手研究者（45歳以下）を〈化学・物理学分野〉〈医学・生物学分野〉各分野、それぞれ1名ずつ「花王科学賞」として顕彰を行う。総計2件、600万円の授与を予定している。

(1) 贈呈式・受賞記念講演会 開催

正賞（賞状）、副賞（金300万円）、記念品（腕時計）を授与する。

贈呈式・受賞記念講演会開催：2023年6月20日

(2) 募集活動（推薦制）「花王科学賞」

募集期間：2023年7月1日～10月31日

その他の関連事業（公益目的事業3）

2023年度はシンポジウムの開催予定は無く、企画・運営について見直しを行う。